



ラーニング・アドバイザーがおすすめる…

労働法

日本国民の三大義務として、①「教育の義務（26条2項）」②「勤労の義務（27条1項）」③「納税の義務（30条）」があります。
どれも重要なものですが、今回は和大学生にとって一番なじみ深いものと思われる、「労働」に関する法律(アルバイト、就職活動等)について取り上げます。

発行：2019.1
和歌山大学図書館
作成：ラーニング・アドバイザー
(経済研究科)

★本文中で紹介されている図書の探し方★
和歌山大学附属図書館トップページのOPAC検索窓に、
10桁の書誌IDを入力して検索してください。
<https://www.wakayama-u.ac.jp/lib/> 和歌山大学図書館



1. イントロダクション

1-1 学習にあたってのポイント

「労働」に関する法律であるので「労働法」という名称が一般的には使用されていますが、実際に「労働法」という呼称の法律はありません。

いわゆる労働三法(労働組合法・労働関係調整法・労働基準法)を含めたおよそ 50 種類余りの労働に関する法律の総称となっています。

学習に当たっては、私たち学生にとっては関心が高いアルバイトに関する労働問題について調べておくといいかもかもしれません。

オススメ書:『マンガほんとに怖いブラックバイト : 大学に通うためにバイトしてるのに、バイトのせいで大学に通えない件』あさいもとゆき他(宝島社) 2014

(配架場所:2F・開架図書 請求番号:366.8||AM 書誌 ID: 1000446334)

1-2 一般向けに書かれた資料・読み

◆厚生労働省発行資料『知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識～』

(<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12600000-Seisakutoukatsukan/0000044295.pdf>)

Web 上でも公開されている、国民全般に向けた労働に関するハンドブック。

知っておくべき社会常識的なことや、本当に基礎的な事項を分かりやすく書かれている。

◆『これを知らずに働けますか?: 学生と考える、労働問題ソボクな疑問 30』竹信三恵子著(筑摩書房) 2017

(配架場所:2F・開架図書 請求記号:366.021||TM 書誌 ID:1000440255)

意外と知らない労働問題について、大学での講義録を元に一問一答式に説明している本。学生の素朴な疑問にわかりやすく答える形で構成されているため、とても読みやすい。

◆『大学生のためのアルバイト・就活トラブル Q&A』石田眞他(旬報社) 2017

(配架場所:1F・学修・キャリア支援資料 請求記号:377.9||IM 書誌 ID:1000441479)

自分では常識であると思い込み、続けている仕事の実は違法であったりする。

「休憩がとれない」「みなし残業」「リストラ」「パワハラ・セクハラ」などちょっとした疑問に法的側面から答えてくれる本。

◆『就活前に読む : 会社の現実とワークルール』宮里邦雄他(旬報社) 2011

(配架場所:2F・開架図書 請求記号:335.21||MK 書誌 ID:1000420912)

いわゆる「ブラック企業」と呼ばれる会社の過労死や労災などについて社名を实名で事例を公開している本。かなり具体的な社名 & 状況などが書かれているため、イメージがとてもしやすい。就活前に読んでおくべき本。

2. 学習用資料

2-1 手元にあると便利な事典・ハンドブック

- ◆『法律学小辞典〔第5版〕』高橋和之他（有斐閣）2016
（配架場所:2F・参考図書 請求記号:320.33||TK 書誌ID:1000434529）
法律文言はいわば外国語のようなものといっても過言ではなく、法学でしか使わない難解な用語は数多い。法学書には用語説明までは記載していない場合があるため、手元があれば学習がスムーズに進む。
- ◆『別冊ジュリスト 労働法判例百選〔第9版〕』村中孝史ほか（有斐閣）2016
（配架場所:2F・開架図書 請求記号:366.18||R 書誌ID:1000125672）
総論、各論ごとに代表的な労働問題に関する判例を厳選し、研究者等の解説も記載されている。学習すべき事例が掲載されており、学習資料としては最適。

2-2 代表的な教科書・基本書

- ◆『労働法』菅野和夫（弘文堂）2017
（配架場所:2F・開架図書 請求記号:366.14||SK 書誌ID:100041990）
労働法全分野にわたる実務法曹必携の最も権威がある体系書とされる。労働法の全てを網羅しているといっても過言ではないが、分量が非常に多く日常の学習には向かないかもしれない。辞書的に扱うのがオススメ。
- ◆『労働法』水町勇一郎（有斐閣）2017
（配架場所:2F・開架図書 請求記号:366.14||MY 書誌ID:1000424398）
本大学で開講されている講義の指定図書となっている。判例をベースとした豊富な設例を用いて労働法を解説する「教科書」である。序章において大きく紙幅を割いて、歴史的・社会的背景から労働法・判例の解釈や変遷を社会学的に分析している点に特色がみられる。内容は平易で、概ね通説的な解釈に終始しており、分かりやすい。
- ◆『労働法概説（第3版）』土田道夫（弘文堂）2014
（配架場所:2F・開架図書 請求記号:366.14||TM 書誌ID:1000425772）
労働法全分野を概観。概説&判例ベースの事例を使用した論点解説というスタンダードなスタイルの教科書。
余談であるが、本パスファインダー作成者が学部生の時に著者の講義を受講したことがある。（とても面白かった）

2-3 最新情報が確認できる資料

- ◆裁判所/裁判例情報
（http://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search1）
主要裁判例のほとんどを検索することができる。判決日や級審が分からない場合であって

もキーワードから検索が可能。

◆総務省 e-gov 法令検索

(http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0100/)

法令データベースのひとつ。現行法のほぼ全てを網羅しており、改正の経緯や沿革等も記載されている。現行法だけでなく、過去の法令や審議過程等の検索も可能。

◆WestLawJapan/ウエストロー・ジャパン

(<https://www.wakayama-u.ac.jp/lib/collections/db.html>)

代表的な法律情報データベースのひとつ。通常は有料のサービスであるが、本学は契約しているため、学生は学内ネットワークから無料で利用することが可能。

(大学図書館ウェブページよりリンクあり)

◆厚生労働省ホームページ

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/index.html)

雇用・労働に関する最新の情報を知ることが出来る。法改正や制度説明等から関連するニュースに至るまで、なんでも載っている。

3. より深く学習したい方向けに

◆種々の法律雑誌

『季刊 労働法』『労働判例』『労働法律旬報』『労政時報』『法曹時報』『判例時報』『法律のひろば』などの雑誌。

上記には労働法に関する雑誌だけでなく、法全般に関するものも含まれる。多くは月刊誌でタイムリーな情報が記載されている。

研究者から実務家まで幅広く読まれており、法改正の動向なども知ることが出来る。

全ての雑誌、巻号が揃っているわけではないので、必要な論文等があれば、図書館サービス(文献複写依頼サービス)などを利用してほしい。

(配架場所:1F・開架雑誌、1F・書庫(雑誌・請求制))

◆各大学紀要

大学(短期大学を含む)などの教育・研究機関や各種の研究所、博物館等が定期的に発行する学術誌。学会の発行する雑誌や、法律雑誌に記載されていない研究者の最新の論文が載っている可能性がある。(配架場所:3F・大学紀要)

◆機関リポジトリ

上述の大学紀要や、種々の法律雑誌における論文等はインターネット上で全文公開されているものもある(オープンアクセス)。CiNiiArticles や JAIRO から検索可能。

(和歌山大学図書館ウェブページよりリンクもあり。)

●また、和歌山大学図書館パスファインダー『ラーニングアドバイザーがおすすめる…判例の読み方』等も参照してみしてほしい。